



# おち あい しん ご 落合慎悟県議

## 静岡県議会報告 2018年12月号

静岡県政に対するご意見  
ご要望をお寄せください。

# 静岡県議会報告 五輪会

自民改革会議  
静岡県議会議員

# おち あい しん ご 落合慎悟



日本国憲法勉強会で安倍総理



11/16副議長室で焼津森線整備促進要望書を北村藤枝市長、西原市議会議長から受理した。



暴力追放・銃器根絶県民大会



沖縄普天間基地とオスプレイ

7/14～16 西日本豪雨災害視察 16府県で死者220人、行方不明10人。1万棟以上の住宅が全半壊、計3万3千棟以上が床上・床下浸水した。

倉敷市真備町小田川・高瀬川氾濫被害状況。真備町は51人の死亡、ほとんど水死。浸水深さ南北1km 東西3.5kmの範囲で5mを超えた。



小田川堤防を乗り越えた濁流でトラックも流された。屋根まで浸水の真備町服部地区、ゴミ山の箭田地区。仮設空調ある福田第2小学校と富士市のトレーラートイレ

広島市安芸区矢野東地区被災状況。矢野東地区は12人の死亡、広島県全体で106人死亡、行方不明6人、住宅被害は全壊631戸、半壊1770戸。



集中豪雨で山が崩れ、土砂で川が氾濫。流域は大きな被害。更に今年3月に完成した砂防ダムを大岩が乗り越え、矢野東団地内に転げ落ちて大惨事となった。

呉市安浦地区被災状況と静岡県派遣看護師の被災地住民の健診活動。呉市は24人の死亡、行方不明1人、住宅被害は全壊197戸、半壊646戸。



静岡県の支援拠点は呉市安浦まちづくりセンター、避難所運営と健康チェック・相談業務。4人死亡と被害が甚大の中畑地区に県技監保健師と同行し、視察した。

9/11～14 北海道胆振地震被災状況視察 地震規模はMj 6.7、震度7、死者41人、重傷10人、建物全壊208、半壊279、一部損壊1,491。道内全域約295万戸で停電が発生、住民避難(9/6)3,744人、最大6万1201戸が断水した。

むかわ(鶴川)町被災状況 死亡1、重傷1、全壊6、半壊25、停電0戸、断水0戸 住民避難13箇所646人、(6/16)5箇所186人



避難所は、むかわ町役場前の「道の駅むかわ四季の館」で、自衛隊が食事や風呂を用意して救援に当たっていた。町の中心部には、1階が潰れた建物や傾いた建物もあるが外観からは、それほどの被害を感じられなかった。厚真港に国から災害派遣の油回収船「ふじ」が住民たちに風呂を提供していた。

安平(あびら)町被災状況 死亡0、重傷0、全壊27、半壊35、停電5戸、断水724戸 住民避難10箇所492人、(6/16)7箇所94人



千歳空港近くの安平町は、水道が出ない。役場には日本赤十字の救急隊が多数応援に来ていた。安平川に架かる橋に段差ができ、道路が各所で不通。役場近くの早来神社は入口の屋根が落ち、鳥居も壊れ、被害が大きかったが、付近の家はほとんど大丈夫だった。直下型地震のため、地下の断層が走っている場所だけズレて振動が大きく被害が大きかったと思う。

厚真町被災状況 死亡36、重傷0、全壊44、半壊32、停電54戸、断水700戸、住民避難13箇所555人、(6/16)7箇所841人



厚真町役場裏の福祉センターが避難所となり、多くの住民たちが床に布団を並べ休んでいた。外の駐車場では、自衛隊の音楽隊が慰問演奏していた。朝日地区、吉野地区では、山が崩壊し、山崩にあった住居が土砂に押し潰され、多くの住民が亡くなった。山崩れは「固まっていない火山灰などが降り積もった斜面が、直下型地震により崩壊した。」と専門家の説明。

札幌市清田区里塚地区 死亡1、重傷1、全壊52、半壊120、停電0戸、断水58戸 住民避難239箇所1,312人、(6/16)1箇所39人

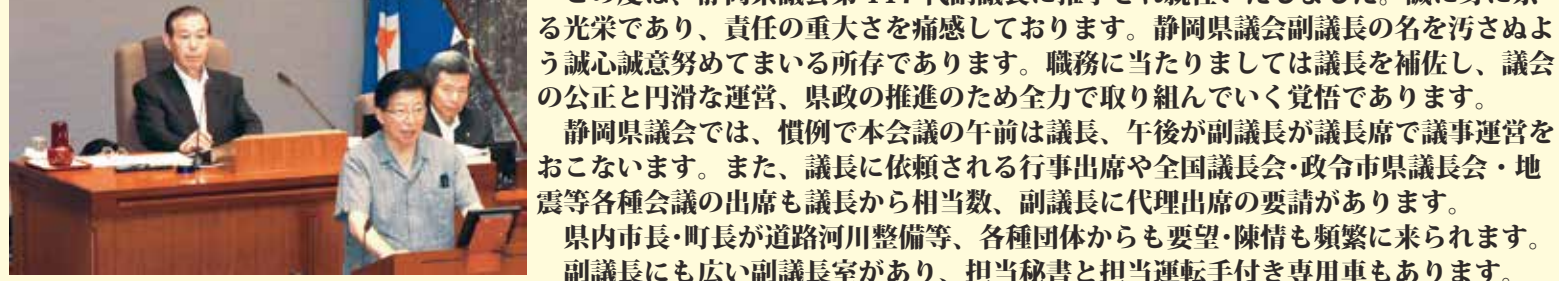


清田区に行って驚いた。里塚1条2丁目の約200m範囲だけが陥没しているだけで、周りは全然被害がない状況だ。陥没した場所は、山と山の谷間であった場所を埋め土したために、今回の地震で地面がずれて起きた陥没のようだ。この地区は新興住宅地で建物は比較的新しい。到着した時、自民党本部の視察があり、私も一緒に札幌市の現況説明を伺うことができた。

**落合慎悟事務所**  
〒426-0031 藤枝市築地838  
TEL 054-645-8100  
FAX 054-645-8111  
メール s.o@thn.ne.jp  
http://www.ochiai-shingo.jp

北海道電力厚真火力発電所の2号機4号機が地震で壊れ午前3時頃に緊急停止した時、なぜ北海道全域の配電網制御所が負荷に見合う分の供給遮断できなかったのか？まだ調査中だが、全停電は意外だ。

5月臨時議会で第117代静岡県議会副議長に選任された!! 本会議質問日の午後は議長席!!



この度は、静岡県議会第117代副議長に推挙され就任いたしました。誠に身に余る光栄であり、責任の重大さを痛感しております。静岡県議会副議長の名を汚さぬよう誠心誠意努めてまいり所存であります。職務に当たりましては議長を補佐し、議会の公正と円滑な運営、県政の推進のため全力で取り組んでいく覚悟であります。静岡県議会では、慣例で本会議の午前は議長、午後に副議長が議長席で議事運営をおこないます。また、議長に依頼される行事出席や全国議長会・政令市県議長会・地震等各種会議の出席も議長から相当数、副議長に代理出席の要請があります。県内市長・町長が道路河川整備等、各種団体からも要望・陳情も頻繁に来られます。副議長にも広い副議長室があり、担当秘書と担当運転手付き専用車もあります。

「第5次エネルギー基本計画」2030年、2050年に向けた方針!!

より高度な「3E+S」を目指すため、(1)安全の革新を図る(2)資源自給率とエネルギー選択の多様性を確保する(3)「脱炭素化」への挑戦、(4)コストの抑制に加えて日本の産業競争力の強化につなげる。という四つの目標を掲げている。  
●再生可能エネルギー(電源構成比率 22~24%)●原子力発電(電源構成比率 20~22%)●石油・石炭・天然ガスなどの化石燃料(電源構成比率 56%)●省エネルギー(実質エネルギー効率率35%減) ※カッコ内:2030年に実現を目指す水準

社会保障費2025年度の給付額140兆円(年金50%医療30%介護20%)四半世紀で160兆円減!!

団塊の世代が全員75歳に到達する「2025年度社会保障給付費推計」だが、1994年300兆円超、2000年200兆円超、06年160兆円、12年150兆円と新たな推計が出るたびに下方修正を繰り返している。直接の理由は日本経済が成長しないため。高齢化で増える社会保障の財源を賄うため、「消費増税の一律の引き上げは避けて通れない」しかし、国では、膨らむ給付費にどう対応するのか議論が見えてこない。来年10月から消費税は10%となる。なぜ日本の経済成長が伸びないのか議論必要!

「台風24号で停電6日」水道・高速道路・電話も全て電気が必要!! 停電復旧は何より優先!!

中部電力管内静岡県の停電は延べ119万戸で10月1日午前4時約65万戸、2日午前7時約20万戸、午後11時で10万戸余、4日午後7時で5400戸と復旧に時間が掛かった。6日朝、御前崎市の某店舗から漸く電気が復旧したが、動力の空調機と冷蔵庫が台風で壊れた来てくれとの連絡で訪問した。冷蔵庫は家の中、原因は外の引き込み線が1本断線していた。単相運転で壊れた。1998年台風7号は延べ111万戸と同規模の停電だが、当時の復旧はほぼ2日と早かった。応援復旧体制の確立が必要だ。今後、東南海トラフ地震が発生が予測されている。中部電力の県内委託電気工事会社との連携を以前の様に構築する必要がある。危機対応に、世界標準の電源50Hzを60Hzに統一、100Vを200Vに変更する。世界各国に行けば日本だけが100Vだ。機器交換による国内需要補助は一兆円余かもしれないが、10年計画で国内の景気対策とすれば、何千兆円の取組が国に入る。

皆様に支えられ、お陰様で静岡県議会副議長に選任されました。多くの方々のご指導ご支援に心から感謝申し上げます。誠心誠意努力して副議長職を全うし、全国各県の先進例等の研究や国への意見など貴重な経験を活かし、静岡県の発展に向け行動するとともに皆様からのご意見やご要望に応じてまいります。今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

9月議会 知事報告 9月4日の台風21号や6日に最大震度7を観測した「北海道胆振東部地震」により、被害に遭われました皆様にお見舞い申し上げます。

ブロック塀の安全対策・・・46県有施設と34県立学校が法不適合或不具合判明。道路に面している塀を撤去等、緊急対策実施。7月の西日本豪雨災害・・・呉市に総括支援3人、避難所支援28人、保健師13人を派遣した。静岡県の災害犠牲者0を目指す。受動喫煙防止対策・・・「県受動喫煙防止条例」を制定し、すべての飲食店で「禁煙」「分煙」「喫煙可」の標識掲示義務付ける。障害のある方の文化芸術振興・・・県障害者文化芸術活動支援センターを静岡市に開設し、障害のある方の文化芸術活動支援する。ICT人材の確保・育成・・・「ICT人材育成協議会」を設置し、ICT人材確保やICTに秀でた子ども達の育成戦略を進める。茶業政策・・・高品質・低コスト生産の茶製造機械導入支援、茶園の基盤整備を前倒しで推進、市場を見据えた生産体制を構築する。花の都づくり・・・「浜名湖花博15年目の春～浜名湖花フェスタ2019」を開催し、環浜名湖地域が一体となった観光誘客につなげる。リニア新幹線建設の大井川水系水資源保全・・・「南アルプス自然環境有識者会議」を設置し、8市2町「大井川利水関係協議会」を設立。東京オリンピック・パラリンピック・・・ロードレース7月25・26・29日、マウンテンバイク27・28日、トラック競技8月3～9日。ラグビーワールドカップ2019・・・11月3日に1年前イベント実施、チケットの一般抽選販売開始する。全県で機運を盛り上げる。全国高校総合体育大会・・・7月26日～8月20日に県立大会会場「2018彩の国感動 高校総体」開催。女子サッカーで藤枝順心高校3位。文化力の拠点・・・全館移転の県立中央図書館機能を中心に東静岡駅南口県有地に整備。導入する機能や規模など具体的に検討中。富士山世界遺産センター・・・昨年12月開館から8月末までの8か月で来館者が、年間目標の30万人を上回る38万959人となった。日本平山頂シンボル施設・・・開館前日の11月2日に記念式典開催、愛称「日本平夢テラス」と決定。施設の魅力を積極的に発信する。駿河湾フェリーの対応・・・鈴とグループからフェリーや係留施設を無償で寄付申出がある。事業存続要望があり、4月以降運航継続。モンゴル外交・・・7月27日から8月1日に県議団、経済団、高校生交流団など160人で訪問した。幅広い分野で交流拡大を図る。議長席は議員がよく見える。韓国外交・・・9月10～14日忠清南道と友好提携5周年式典や農業フォーラムに出席、梁承冕知事ら要人と会談し交流を深めた。

知事は学術文化芸術が専門で漢字の解説や古事記、和歌などを引用し、話題にイメージ的な話をよく使う。

9月議会 総務委員会報告 今年度から企画部が無くなり、知事直轄組織ができ総務委員会の管轄となった。経営管理部と合わせると課長以上が55人。

30年県政世論調査結果・・・暮らしが苦しくなった33%、悩みや不安を感じる71%、住みよいと思う88.8%、県政に関心がある57.1%。移動知事室及び知事広聴・・・移動知事室4回(安心安全な地域づくり・豊かな暮らしの実現・未来を担う有徳の人づくり)。知事広聴7回。土民協働施策レビュー開催・・・9/8、9参加者192人、意見・多様な力を育成する授業改善が必要、県内の地域格差分析などに注力すべき。東京ガールズコレクション開催・・・日本最大ファッションイベント1月12日(土)15～19時ツインメッセ静岡北館、来場者予定7千人。災害時外国人県民支援体制整備・・・10月下旬に多言語支援センターを県庁内に設置。多言語による情報発信・災害に関する相談対応。障害者雇用・・・29年度者雇用122人雇用率2.15%(法定雇用率2.3%)、30年度雇用122人手帳所持98人、雇用率2.28%(同2.5%)。県退職者の再就職状況公表・・・29年度課長級以上の退職者54人で県以外の団体等に再就職した退職者は54人(県ホームページ公表)。個人住民税の徴収対策・・・21年度から3年連続で全国最下位、24年から県職員短期派遣を実施した。29年度収入率95.8%全国36位。法人事業税の超過課税・・・31年3月未期限の延長を検討、標準税率の5%に変更し、5年間実施する。見込額、年79億円×5年。県庁働き方改革取組状況・・・ICT活用で業務効率化(RPAソフトウェア2台購入、15業務プログラム作成)削減時間約3千時間。県庁働き方改革取組状況・・・サテライトオフィス試行拡大(県庁西館2階会議室等)、文書量削減取組実施、オフィスレイアウト見直し。公用車取得契約・・・12年使用の議長車センター更新。センターハイブリッド取得契約2,100万円。皇室来静時使用あり。30年度県職員・警察官公募数、採用試験実施状況・・・県職(大卒243人、短大卒8人、高卒12人)警察官(大卒82人、以外97人)。30年度9月監査実施状況・・・実施合計263件(指摘6、注意16、指導49、意見21、検討5)指摘内容建設現場事故、交通違反、盗撮。